様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	27・教芸	第 1･2･3 学年	音楽・774	中学生の器楽
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　器楽 　器楽の表現においては、様々な楽器を数多く取り上げ、簡単な楽曲を演奏するとともに、リコーダーを中心とした重奏や合奏したりする活動、和楽器、リコーダー、打楽器などを用いて、曲想にふさわしい表現を工夫したり、旋律の流れに気を付けて演奏したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　〔共通事項〕 　声部の重なり方の特徴を生かしながら合奏したり、フレーズや音の長さ、音の高さの変化に注目して演奏するとともに、曲の構成を生かしてリズムを工夫したり、和音の変化を感じ取りながら演奏したりする活動が取り上げられている。 ○　知識・技能の習得、活用、探求への対応 　楽器の構え方や構造等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、各楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりすることなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　楽器の基本的な奏法や練習曲などを学習する活動の後に、打楽器などの様々な演奏形態による合奏を行う活動を取り上げ、系統的、発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　教材数は 56、総ページ数は 89 ページで、前回と同様になっている。			
使用上の配慮等	○　多様な音楽への興味・関心が高まるよう、幅広いジャンルの演奏家の写真とメッセージを巻頭に掲載したり、多様な音楽に触れることができるように、各種打楽器に関する内容などを扱い、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など、様々なジャンルから選曲したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　キャラクターの「吹き出し」において学習活動のヒントを掲載したり、合奏曲の随所において「演奏のポイント」を示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻末の「音楽の約束」で各学年で学習した〔共通事項〕を示すとともに、学習参考資料として日本の伝統音楽の楽器や編成などを掲載したり、学習内容が一目で分かるよう「音楽学習 MAP」を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　使いやすさを考え、AB 変型判のサイズを採用している。 ○　全ての生徒にとって分かりやすく、取り組みやすくなるよう、シンプルなデザインにするなど配慮している。 ○　和楽器について、音や音楽のもつ特質、姿勢に関する内容についても取り上げている。			